

第3回絆づくりこうなん実行委員会 会議要旨

日時：平成23年10月4日（火） 午後1時半～3時半

場所：市民・協働ステーション（情報センター2階）大会議室

議題：(1) 企画案について (2) その他

◆今回話し合うテーマは、「具体的にどのような企画を実施するか」です。第2回に引き続き、ワークショップ形式で各委員の意見、思いを話し合いました。

(1) 企画案について

◆場所・対象世代・対象テーマ、「まずはじめに何を決めるべきなのか」から話し合いが始まりました。

- ・会場を決めないと、企画内容も決めようがない。はじめに場所を決める必要があると思う。PRも兼ねて、市民活動団体の活動拠点である地域情報センターを提案したい。
- ・情報センターには会議室、ギャラリーコーナー、1階に給茶機のスペース、2階には広いフリースペースなどがある。地域情報センターを全館まるごと貸し切れば、それぞれの場所で色々なイベントが企画できると思う。

※例えば・・・

○給茶機付近で、高齢者が集う「100円カフェ」

○2階フリースペース付近で、「室内フィットネス」

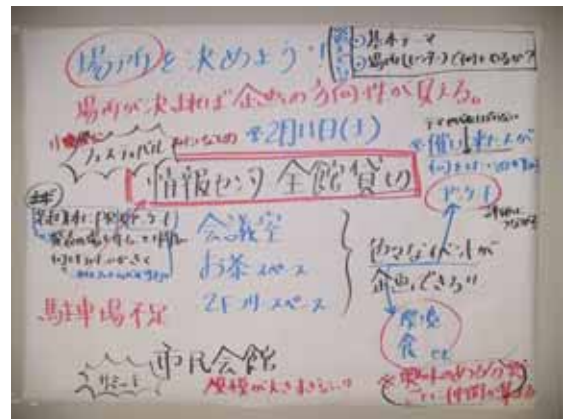
○会議室で、「子育てブース」「環境ブース」

→子育て情報を発信したり悩みを話し合ったり、「布絵本」を作ったりしてはどうか。

→「お茶菓子」をつまみながら肩肘張らずに話し合える雰囲気づくり

○ギャラリーコーナーで、「まちづくり活動の紹介」 etc・・・

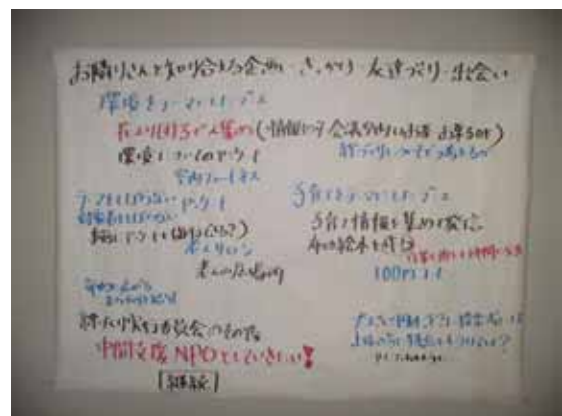
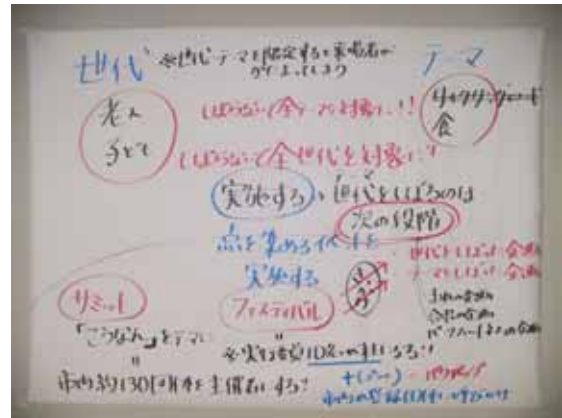
- ・まずはじめに、対象とする世代を決める必要があると思う。高齢者を対象にするのか、子育て世代を対象にするのか、対象とする世代によって実施場所、企画内容は変わってくる。
- ・今回の企画の目的は、『NPO ボランティアに「一同に」会してもらい、横のつながりを持ってもらうこと』である。子供から高齢者までが世代を問わず参加できる企画でなければいけない。みんなに出てきてもらえる企画を考える必要がある。
- ・私は行政の取組み、地域でまちづくり活動をしている人がいることを、この会に参加してはじめて知った。昔から広報は好きでしっかり読んできたのだが、意識していないと目にとまらない事がよくわかる。市内には「こういう人がいる」とか「こんなことをやっている人がいる」



- ・人集めには、「花より団子」の考え方も重要！
- ・皆で共通の作業をすると仲間意識が生まれやすい。

ことを伝えて、「この指」にとまってもらえる企画を考えたい。

- ・会場ありきではなく、内容を決めてから会場の選定になると思う。例えば、「アダプト」をテーマに呼びかけるのであれば、屋内では何も伝わらない。
- ・スポーツ系のイベントは今でもたくさんある。
- ・実行委員 10 人の思いを形にしたい。10 人の持ち味を活かすブース形式はどうか。それぞれのブースで知り合うきっかけができる。
- ・10 人の思いを形にするのに加えて、NPO ボランティアに呼びかけてブース出展の希望をとるとさらにパワーアップした企画ができると思う。NPO ボランティアの方たちには、「来場者」としてだけではなく、「主催者」としても参加してもらえるよう呼びかけていきたい。
- ・個々の活動が市内にはたくさんある。今ある点の活動を集めて、面にする企画を実施したい。
- ・特定分野の企画にすると、それに関心のある人は参加するが、それ以外の人への参加は期待できない。
- ・NPO ボランティア「一同」に呼びかける企画を考えなければいけない。今回企画するのは様々な人が気軽に参加できる「交流の場」である。
- ・団体で活動している人も、これから始めようとする人も、すべてが参加しやすい企画にする必要がある。
- ・江南市に中間支援を行う NPO が生まれるとよいと思う。
- ・この実行委員会のやろうとしていることは、中間支援に入る。今年限りではなく来年もその次も継続して実施することで、この実行委員会が中間支援 NPO として成長していくといいなと思っている。
- ・市民・協働ステーションは中間支援をする場所である。
- ・全国には共通のキーワード「こうなん」と発音する自治体がいくつかある。会場を文化会館とし「こうなんサミット」を全国に呼びかけてみてはどうか。
- ・前回の実行委員会で「アンケート」といった意見があった。とても重要なことだと思った。当日は会場にてアンケートを行ってはどうか。アンケートで市民が何を求めているのかわかる。
- ・事前に登録団体にアンケートを実施、分析して、その結果をイベント当日に発表する。その場でさらに生の声を分析に取り入れ、今後の絆づくりに活かしてはどうか。これならば、本体の企画と並行しても可能ではないか。
- ・参加者に自分達の活動のプレゼンをやってもらい、投票式にして、得点に応じ助成金を出したらどうか。
- ・実行委員会は、行政から離れないとしばらくが多くなる。



- ・ NPO ボランティア活動の PR の場、団体の PR の場を設定してはどうか。
- ・ NPO ボランティアのネットワークづくりは今後も継続されるべきである。継続するには、まず今年度、実行委員会が無理なく出来ることを行う必要があると思う。
- ・ 思いを形にするために仲間を求めている人達が沢山いる。メンバーを募集したりすることもできる企画を考えたい。お隣と知り合うきっかけとなる、出会いの場の企画をする必要がある。今回は仲間を集う、知り合うきっかけをつくる場。今回の企画のその後に様々な協働事業が生まれれば、江南市が元気になる。
- ・ 地域情報センター全館を使い、「絆づくり」をテーマに話し合っはどうか。同じ考えの人がつながりやすい。
- ・ 当日の企画の広報は、NPO ボランティア団体すべてに行う。一般市民向けには広報こうなん。1月号か2月号になると思う。
- ・ 企画内容が固まってから、それを各団体に訴える。

■検討結果

- ・ 開催日 2月11日（土） 開催時間は未定。
- ・ 会場は地域情報センター
- ・ 次回（10月25日（火））は上記の条件の範囲で企画案を持ち寄る。
- ・ 次回までに事務局へ提出